

(iii) 研究授業

明日からの授業に活かすことが目的である。参観者は、事前に説明を受けた授業の視点や論点を意識しながら、生徒の手助けをせずに、黙って授業を参観し、生徒の様子やつぶやきを拾う。

(iv) 研究協議

協議の論点に基づき、研究協議を行う。その後、全体で課題の整理、共有を行い、今後の方向性や取組について確認する。



教師は黙って、生徒の様子を見る つぶやきを拾う。

(2) 教科等横断的な取り組み

①カリキュラムマップ

生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、教科等横断的な視点からの授業づくりを目指して、カリキュラムマップ（単元配列表）を作成した。カリキュラムマップには、各教科の学習内容と題材を記載し、他教科担当者が見て、いつ、どんな内容を学習しているかがわかりやすいように一覧表としてまとめた。【a】

作成したカリキュラムマップは、職員室のホワイトボードに掲示していつでも見られるようにし、つながりそうな内容や関わりあえそうな単元を結んだ。【b】【c】

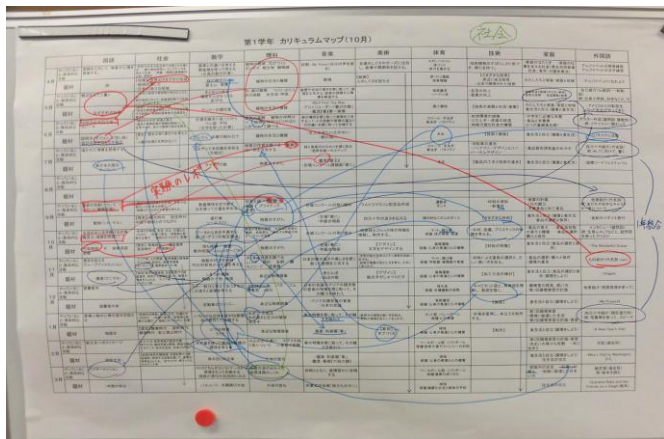
各教科で結びつけたものを教科ごとに色分けして、示した。【d】

【a】

【b】



【c】



【d】



今後は、このカリキュラムマップを活用して、各教科を題材でつなげ、共通の題材を各教科の見方・考え方を働かせて、問題発見・解決していく授業を構想していく計画である。

②学習の基盤となる資質・能力

あらゆる教科等に共通した学習の基盤となる資質・能力としての「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」について、各教科ではどのような取組を行っているかを具体的に書き示し、情報交換して、授業で意識的に行えるように全教員で確認を行った。

		言語能力						
		国語科	社会科	数学科	理科	英語科	体育科	芸術・音楽
知識・技能	・漢字を正確に書く。 ・文章の中で正しく日本語を使うことができる。 ・会話の中で内容を正しく聞き取るることができる。	・社会科の用語を使う。 ・正しい言葉で伝える。 ・条件にあった答え方、対応ができる。	・数学的用語の意味・理解をしっかりとする。(図形や性質から) ・数学的用語を説明の中で使わせる。	・既習した語句を使うことで、事象等を説明する。 (熟化と熟練の使い分け) ・既習した語句を授業の中や思考の際に使うことができる。 ・考察、結果の違いを理解し、使い分ける。 ・日常生活と関連付けながら理解。	・言語に関する知識(音声・文法・語彙・表現) ・言語に関する技能(読む・聞く・話す・書く) ・異文化理解。	・専門用語を使う。 ・ルールを理解する。 ・名称を知る。 ・言語活動のためではなく、体育のための言語活動である。	・表現力 ・ポスターにおける文言止めや配置法の表現。 ・音楽の記号や用語を知らず、演奏の創意工夫で役立てる。 ・材料の特徴を知り、作品作りで役立てる。	
	・自分の考えを根拠をもとに相手に伝えることができる。 ・様々な表現に熟練し、自分の考えをもち、広げたり深めたりする。 ・文章の表現や構成について評価することができる。	・自分でわかる。 ・相手に伝わる。 ・書く・話す「表現力」	・数学用語を根拠として、説明できる力。	・実験結果を考察して、科学的に表現する。 ・ホワイトボードに班の考えをまとめ、全体へ向けて科学的根拠を用いて発表する。 ・根拠を明確にしながら考察を行う。 ・実験の考察、自分の考えをまとめる。 ・班の考えを共有し、更に自分の考えを深め、文章化し、説明できる。	・技能を活用できる力。 ・場面・相手を意識した英語を使っている会話。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えを他者に伝える。	・自分の疑問や考えを言語で説明。 ・振り仮名の書き方の指導。 ・鑑賞曲を聴いて、感じとったことや想像したことを言葉で表す。 ・家族・家庭・子どもの成長の単元で、シナリオを作ってロールプレイングを行う。	
	・既習事項を日々の生活の中で用いようとする。 ・進んで読書しようとする。	・グループによる意見交換ができる。 ・文章で話す。→意見を深める。発展・深化	・よりよい表現に高めていく。 ・自分の考えと他者の考えを比較し、改善する。	・グループ活動を通して、適切な考えを作り上げる態度。 ・友だちのまとめを模範として、自分のまとめを再構築する態度。	【言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力のすべてに関わって】 ・motivation ・興味・関心 ・主体性	・仲間(チーム)の応援。 ・普段の生活、生週にわたって運動に親しむ力を育む。 ・体育用語を用いたアドバイ	・肯定的な評価を行い、間違いを否定しない。 ・ロールプレイング。	
		情報活用能力						
		国語科	社会科	数学科	理科	英語科	体育科	芸術・音楽
知識・技能	・正しい情報を迅速に選択することができる。 ・情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付ける。	・必要な情報を収集することができる。 ・情報収集の手段がわかる。	・データが信頼できるものか、の視座があるか。	・語句を活用するための技能。 ・情報を理解する力。 ・情報を整理する力。 ・既習事項から、必要な情報を抽出する。 ・検証するための実験の計画を立てる。→実験結果をグラフにして共有して、分析する。	・情報を理解する力。 ・情報を整理する力。 ・既習事項から、必要な情報を抽出する。 ・検証するための実験の計画を立てる。→実験結果をグラフにして共有して、分析する。	・情報を理解する力。 ・情報を整理する力。 ・既習事項から、必要な情報を抽出する。 ・検証するための実験の計画を立てる。→実験結果をグラフにして共有して、分析する。	・実技本の活用 ・ビデオやタブレットなどの使用。 ・友だちの実技やお手本となる動きを見取る。	・既習事項の確認する。 ・パフォーマンステスト。 ・資料の活用。 ・楽譜を比較し、違いや変化を見つける。 ・課題 ・資料からの読み取り。
	・取捨選択した情報を必要に応じて活用することができる。 ・複数の情報・資料を比較する。	・必要な情報を選択できる。 ・複数の情報・資料を比較する。	・式と図形を結びつけ、新しい性質を導き出す。 ・日常生活の問題を解決するためのデータの取捨選択。 ・得られた情報やグラフなどに表し、整理する。	・複数の実験から規則性を見出す。 ・実験結果から、考察へつなげる力。 ・既習事項から課題を解決する方法を考える。 ・既習事項からいくつかの情報を読み出し、説明しようとする力。(発表)	・情報を精査する力。 ・得た情報を発信する力。 ・作戦盤を使って、意見を出し合う。 ・考えを伝える。 ・チームに(自分に)必要な取り組みを精査し、学んでいく。	・自分の考えを整理・ウレシク ・言語(パーツ)→構成(デザイン・絵画) ・スライド・図録・写真・イラストなどの資料から必要なものを選択する力。 ・どのように表現するか、創意工夫。 ・一歩進めたり二歩進めたり等の技法を使って、画面を構成する力。 ・実験に向かう準備。		
	・様々な情報を取り入れよび、情報を自分ごととして考える。	・知りたい、探究したい姿勢。(授業のあとで、更に自分で自分なりの視点で…)	・結論を見出し、さらに分析し、改善していくこととする姿。 ・「面白さ」から、次の学びにつなげる。 ・興味・関心 ・主体性	・日常生活と実験を関連付け【言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力のすべてに関わって】 ・motivation ・興味・関心 ・主体性	【言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力のすべてに関わって】 ・motivation ・興味・関心 ・主体性	【言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力のすべてに関わって】 ・motivation ・興味・関心 ・主体性	・肯定的な評価を行い、間違いを否定しない。 ・ロールプレイング。	
		問題発見・解決能力						
		国語科	社会科	数学科	理科	英語科	体育科	芸術・音楽
知識・技能	・相手に伝えるために、「話す」「聞く」「書く」「読む」「読む」言語活動を設定する。	・自分ごととしてとらえられる(そのために課題・ゆあでの設定の工夫) ・身近なこと、生活に関わることを取り入れる。 ・まずは自分で考える→問題に気付けさせる(自ら気づく)ような資料や情報の提供。 ・根拠をもとに問題解決に向かう。	(問題発見) ・仕組み、構造に目を向ける。 ・既習事項との「ズレ」を感じる。 (解決能力) ・向に着目して考えていくのか。 ↓ 一度解決した課題を条件変更して、再び解決する。	・自然現象の中から問題を見出す力。 ・仮説を立て、新たな疑問を見つめる。 ・構想を行い、実験方法を考へていく。 ・予想を立て、見直しをもつ ・実験をする。 ・実験結果を考察し、問題を見出す。	・世界に目を向け、問題を見出せる力。 ・英語をコミュニケーションツールとして、他の国の人と協働して、問題を解決する力。 【言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力のすべてに関わって】 ・motivation ・興味・関心 ・主体性	・練習法(向上のために) ・作戦 ・上達(どうしたら) ・課題を見つめ、解決に向けて ・自己の課題、チームの課題に気づく。 ・練習方法を選択する。 ・自分たちに合ったルールや学びを考え、実行。 ・楽しさや喜びとともに、体力の向上に果たす役割の視点から捉え、「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けすること(体育の見方・考え方) ・ルールやマナーを大切にすること。 ・自己の責任を果たす。 ・健康・安全を確保する。	・表現にあたって使用するスキル、材料などを選択する。(自分の力で制作) ・自分たちのクラス合唱をよりよくするためには?→録音→課題→改善案→練習(繰り返す) ・生活の中で困っていることや不便なこと→解決するための(作品) ・技術の社会に対する役割について考え、真摯にことうとする力。 ・生活の振り返り→改善案	
	・できることが増える。 ・上達することの達成感。 ・仲間づくり ・運動することの楽しさを知る。	・自分ごととしてとらえられる(そのために課題・ゆあでの設定の工夫) ・身近なこと、生活に関わることを取り入れる。 ・まずは自分で考える→問題に気付けさせる(自ら気づく)ような資料や情報の提供。 ・根拠をもとに問題解決に向かう。	・自然現象の中から問題を見出す力。 ・仮説を立て、新たな疑問を見つめる。 ・構想を行い、実験方法を考へていく。 ・予想を立て、見直しをもつ ・実験をする。 ・実験結果を考察し、問題を見出す。	・世界に目を向け、問題を見出せる力。 ・英語をコミュニケーションツールとして、他の国の人と協働して、問題を解決する力。 【言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力のすべてに関わって】 ・motivation ・興味・関心 ・主体性	・練習法(向上のために) ・作戦 ・上達(どうしたら) ・課題を見つめ、解決に向けて ・自己の課題、チームの課題に気づく。 ・練習方法を選択する。 ・自分たちに合ったルールや学びを考え、実行。 ・楽しさや喜びとともに、体力の向上に果たす役割の視点から捉え、「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けすること(体育の見方・考え方) ・ルールやマナーを大切にすること。 ・自己の責任を果たす。 ・健康・安全を確保する。	・表現にあたって使用するスキル、材料などを選択する。(自分の力で制作) ・自分たちのクラス合唱をよりよくするためには?→録音→課題→改善案→練習(繰り返す) ・生活の中で困っていることや不便なこと→解決するための(作品) ・技術の社会に対する役割について考え、真摯にことうとする力。 ・生活の振り返り→改善案		
	・できることが増える。 ・上達することの達成感。 ・仲間づくり ・運動することの楽しさを知る。	・自分ごととしてとらえられる(そのために課題・ゆあでの設定の工夫) ・身近なこと、生活に関わることを取り入れる。 ・まずは自分で考える→問題に気付けさせる(自ら気づく)ような資料や情報の提供。 ・根拠をもとに問題解決に向かう。	・自然現象の中から問題を見出す力。 ・仮説を立て、新たな疑問を見つめる。 ・構想を行い、実験方法を考へていく。 ・予想を立て、見直しをもつ ・実験をする。 ・実験結果を考察し、問題を見出す。	・世界に目を向け、問題を見出せる力。 ・英語をコミュニケーションツールとして、他の国の人と協働して、問題を解決する力。 【言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力のすべてに関わって】 ・motivation ・興味・関心 ・主体性	・練習法(向上のために) ・作戦 ・上達(どうしたら) ・課題を見つめ、解決に向けて ・自己の課題、チームの課題に気づく。 ・練習方法を選択する。 ・自分たちに合ったルールや学びを考え、実行。 ・楽しさや喜びとともに、体力の向上に果たす役割の視点から捉え、「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けすること(体育の見方・考え方) ・ルールやマナーを大切にすること。 ・自己の責任を果たす。 ・健康・安全を確保する。	・表現にあたって使用するスキル、材料などを選択する。(自分の力で制作) ・自分たちのクラス合唱をよりよくするためには?→録音→課題→改善案→練習(繰り返す) ・生活の中で困っていることや不便なこと→解決するための(作品) ・技術の社会に対する役割について考え、真摯にことうとする力。 ・生活の振り返り→改善案		

③教科会の充実・連携

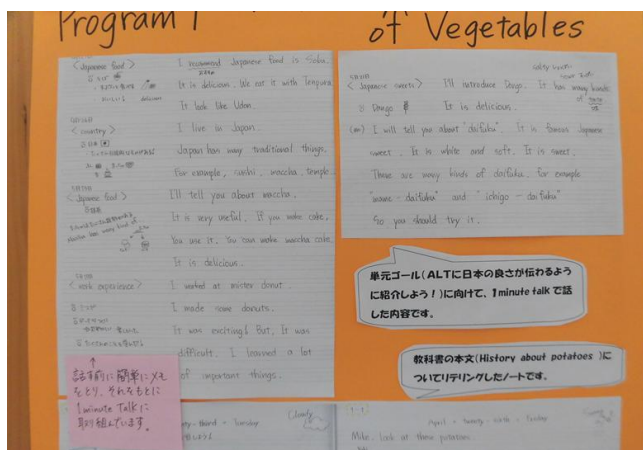
「生徒は一人で全教科を学んでいる」の共通理解のもと、教科主任会を中心にして、各教科で共通して取り組めることを確認し、実施している。

(i) ノート作り

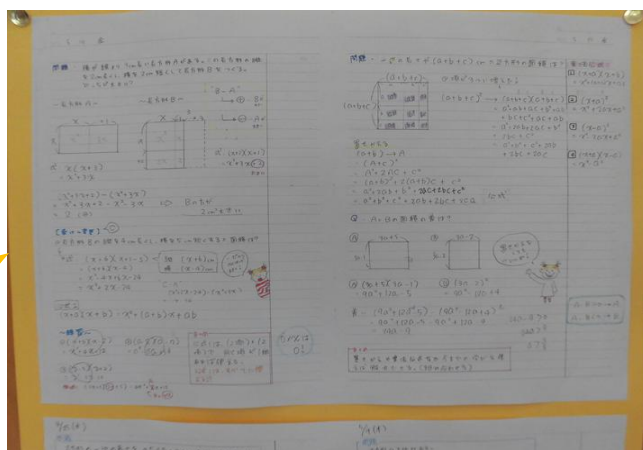
各教科の独自性を活かしながら、「こんなノート作りをしよう」を確認して、各教科で日々取組み、年に5回を目安にして、ノートの掲示を行った。

こんなノート作りをしよう

- ◎自分の考えが書かれているノート
- ◎間違えたことを残して、訂正しているノート
- ◎理由や根拠が書かれているノート
- ◎友だちの意見やいろいろな考えを取り入れて、自分の考えを深めているノート
- ◎振り返り
わ・わかったこと で・できるようになったこと



ノート作りのポイントの中からテーマを決めて、コメントを書いて、各教科のノートを紹介している。



(ii) 板書の共有

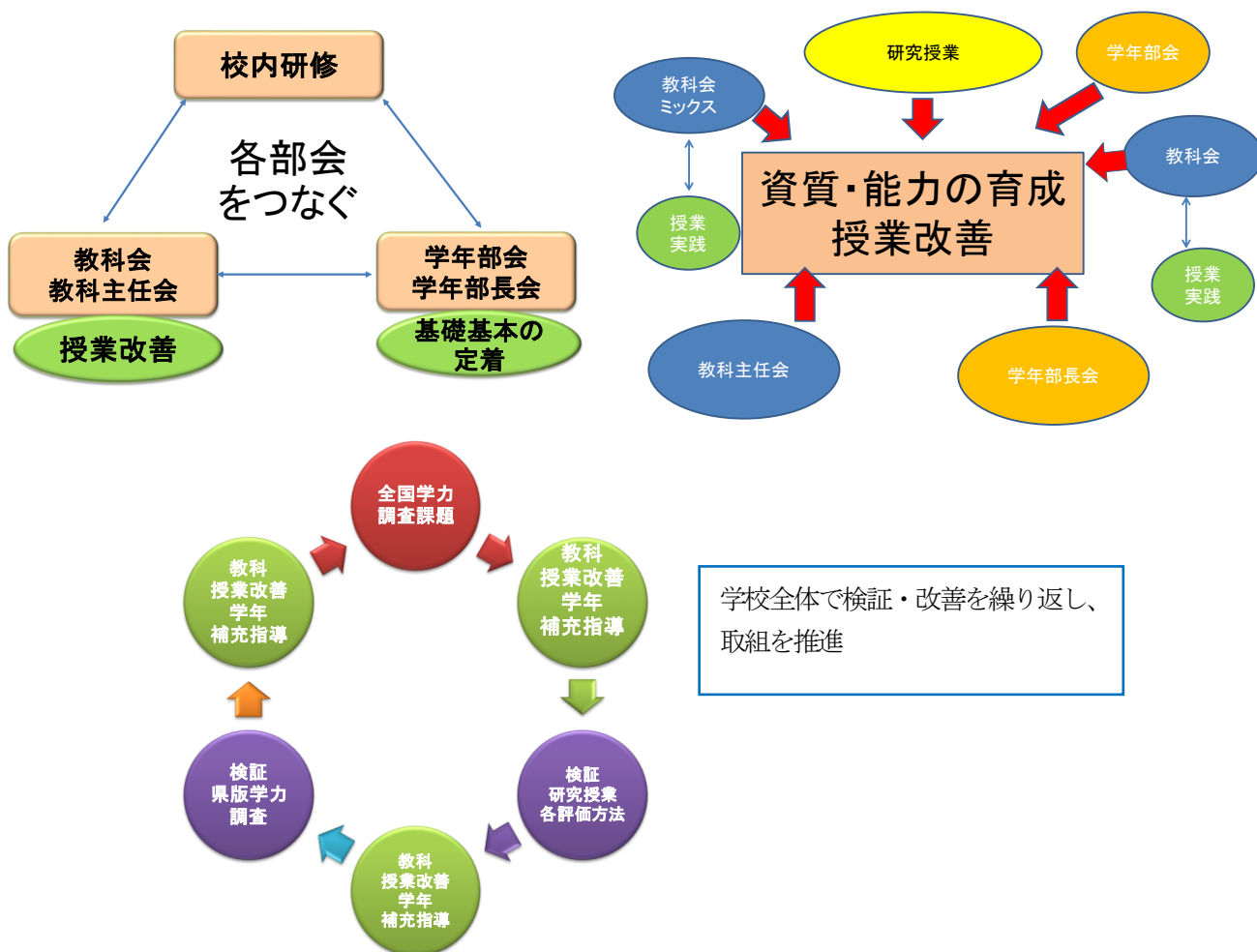
「板書週間」を設定して、各教科の板書の写真を撮り、教科主任会で各教科で工夫しているところや他教科の板書を見ての気づきなどを報告・確認しあい、コメントを書いて職員室に掲示している。各教科会の授業づくり、取組につなげている。



5. 今年度の成果と課題

(1) 成果

- ・教科会の取組、他教科とのつながり、他教科からの学びなどを全教職員で共有し、全ての生徒に関わることができ、目標達成につながっている。
- ・学力向上に向けてのサイクル化、取組が組織的、計画的にできている。
- ・研究主題達成へ向けての取組や研究指定の取組、本校のめざす方向性などを視覚化して示し、共通認識のもと、実施できている。



(2) 課題と今後の方向性

- ・生徒の資質・能力の向上となる授業づくりを図る。
- ・「型」の拘泥からの脱却をめざす。
- ・学びに向かわせるための学習規律を徹底する。
- ・学力定着の厳しい生徒への手立てを図るとともに、学力が高く学ぶ意欲が高い生徒への手立てを図る。